

平成30年度の事業報告

(平成30年4月1日から同31年3月31日まで)

(研修事業関係)

1 全国篤志面接委員大会（中央研修会）を開催した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
中央	中央研修会 平成30年10月16日（火） 法務省地下大会議室 参加者170名 （委員133名，関係者37名）	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「矯正行政の現状と課題」 法務省矯正局長 名執雅子 氏 ・研究発表者 4名 ・パネルディスカッション 進行 連盟 阿部理事 参加者 発表者4名 国職員2名 立川拘首席小島弘美 氏 茨城農統括大橋雅夫 氏

2 矯正管区管内篤志面接委員研修協議会を開催した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
札幌	平成30年7月19日（木）～ 20日（金） 札幌ビューホテル大通公園 参加人員 116名 （委員70名，関係者46名）	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「依存症～やめられない心理とその対応～」 北里大学東病院精神神経科医師 澤山 透 氏 ・班別討議 刑事施設5グループ 少年施設1グループ
仙台	平成30年7月13日（金） 山形市 ホテルキャッスル 参加人員100名 （委員55名，関係者45名）	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「“竹中流” コミュニケーション術 釈放前指導を通して感じたこと，考えたこと」 モダンボーイズ COO//謝罪マスター 竹中 功 氏 ・自由討議 テーマ「社会復帰へのよりよい篤志面接活動を目指して」 討議課題「被収容者と社会をつなぐ懸け橋としての私の役割」とし，全員参加

東京	平成30年11月27日(金) さいたま新都心合同庁舎5階共用 大会議室 参加人員188名 (委員110名, 関係者78名)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「犯罪者の社会復帰と、今、篤志面接委員に求められるもの」 全篤連常任理事 弁護士 大川哲次 氏 ・研究発表 2名 ・グループ討議: 10分野 13グループに分け全員参加
名古屋	平成30年11月9日(金) 福井市 アオッサ8階県民ホール 参加人員118名 (委員77名, 関係者41名)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「人とひょうたん」 全日本愛瓢会 名誉会長 森 義夫 氏 ・研究発表 4名
大阪	平成30年6月14日(木) 大阪商工会議所会議室 参加人員 188名 (委員121名, 関係者67名)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「明石市における更生支援の取組」 明石市理事(更生支援担当) 青山 純 氏 ・研究発表者 3名
広島	平成30年10月25日(木) 岡山市 リーセントカルチャーホテル 参加者107名 (委員53名, 関係者54名)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「ハンセン病問題から学ぶ」 長島愛生園歴史館学芸員 田村朋久 氏 ・研究発表者 2名
高松	平成30年10月18日(木) 徳島市 阿波観光ホテル 参加者 70名 (委員36名, 関係者34名)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「共に生きるよろこび」 社会福祉法人白寿会理事・本部長 大西智城 氏 ・分科会 3グループに分け全員参加
福岡	平成30年11月21日(水)・ 22日(木) 大分市 コンパルホール 参加者169名 (委員79名, 関係者90名)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「ほめる達人!『笑顔・挨拶・元気』」 ほめる教育研究所 代表 竹下幸喜 氏 ・分科会 刑事施設5分野・少年施設3分野8グループに分け, 全員参加

3 初任者研修を実施した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
中央	初任者研修会（第5回） 平成30年12月4日（火）・5日（水） 法務省大会議室 参加者76名 （委員63名，関係者13名）	一日目 ・講話Ⅰ「矯正行政と篤志面接活動の意義」～刑事施設法を中心に～ 矯正局成人矯正課企画官 齋藤行博 氏 ・講話Ⅱ「矯正行政と篤志面接活動の意義」～少年院法を中心に～ 矯正局少年矯正課企画官 日笠和彦 氏 ・講話Ⅳ「篤志面接活動の歴史，制度と現在の課題」 全国篤志面接委員連盟 理事長 室井誠一 ・班別討議Ⅰ 8班 ・講話Ⅲ「面接指導技術」 東京未来大学こども心理学部長 出口保行 氏 二日目 ・講話Ⅴ「篤志面接活動の施設実務」府中刑務所教育部首席矯正処遇官（教育担当） 矢田 豊 氏 多摩少年院首席専門官（支援担当） 曾和 浩 氏 ・班別討議Ⅱ 8班 前日に続き，全員参加

4 矯正管区管内篤志面接委員教養訓練を実施した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
札幌	平成30年11月29日（木） 函館市 フォーポイントバイシェ ラトン函館 参加者45名 （委員39名，関係者6名）	「これからの時代に人間と人工知能はどう付き合っていくべきか」 はこだて未来大学教授 松原 仁 氏
仙台	平成30年11月2日（金） マリオス盛岡地域交流センター 参加者47名	「人間の業・性とどのように向き合うか・・・原敬「宝積」に秘めた大きなところ・・・」

	(委員43名、関係者4名)	原敬を想う会事務局長・保護司 木村幸治 氏
東京	平成30年2月5日(火) さいたま新都心合同庁舎2号館5階 共用大研修室 参加者95名 (委員93名、関係者2名)	「社会貢献活動につながる経験について～私の場合」 作詞家・音楽評論家 湯川れい子 氏
名古屋	平成30年9月10日(月) 名古屋合同庁舎第3館7階会議室 参加者48名 (委員41名、関係者7名)	「再犯防止対策について」 名古屋矯正管区総務課 更生支援担当 板倉尚美 氏
大阪	平成31年2月1日(金) 大阪合同庁舎第4号館4階講堂 参加者101名 (委員97名、関係者4名)	「面接技法～ところをつなぐ言葉がけ～」 滋賀刑務所教育専門官 小西好彦 氏
広島	平成31年2月7日(木) 広島矯正管区ゼミナール室 参加者46名 (委員43名、関係者3名)	(1)「広島県地域生活定着支援センターの活動状況について」 広島県地域生活定着支援センター長 亀野幸一郎 氏 (2)「現状の篤面の活躍の場について」 グループ討議
高松	平成31年2月7日(木) 高松法務合同庁舎8階 高松矯正管区大会議室 参加者31名 (委員26名、関係者5名)	「塀の中の落語教室」 落語協会真打・篤志面接委員 古今亭菊千代 氏
福岡	平成31年2月5日(火) 矯正研修所福岡支所第1教室 参加者57名 (委員32名、関係者25名)	「再犯防止と就労支援について」 コレワーク西日本 高須賀英治 氏

(表彰事業関係)

- 1 従来通り、篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員20名に対して会長表彰を実施した。
- 2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員に対する法務大臣、矯正管区長、管区管内篤志面接委員協議会会長などの感謝状の授与に際して祝意を表した。

(慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して、表敬・慰謝を行った。

(広報・機関誌事業関係)

- 1 ホームページを更新し、内容の充実と広報活動の充実を図った。
- 2 機関誌「全篤連だより」を平成30年7月、同31年2月に発行した。
- 3 研究会、協議会の記録誌の出版：全国篤志面接委員大会、各管区管内篤志面委員協議会及び第5回初任者研修会の実施に際し記録誌を発行した。

(事務局関係)

- 1 事業運営目標達成に向け、その基礎となる次の点に留意した。
 - (1) 引き続き、税理士と契約し財務の指導を受けるとともに、毎月の予算執行状況を監事に報告するほか、監事による10月までの上半期の中間監査を実施するなど、財務状況の把握を確実にした。
 - (2) ホームページを適宜更新し、連盟からの広報活動の積極化に努めた。
- 2 矯正施設賛助会員制度の拡充と会員の増加に努めた。(平成31年4月1日現在182名)。
- 3 予算執行について
 - (1) 公益目的事業会計について、JKAからの補助金が前年度を500万円以上増額されて内示されたところから、特に地方研修大会の開催及びその準備に必要な経費を増額して配付した。
 - (2) 法人会計については、予算内に収めるため、経費を節減した。

(その他の事業関係)

- 1 法務省主催の「社会を明るくする運動」に協力をした。
特に本年度は、全国矯正展において専用のブースを設け、パンフレットを配布しながら篤志面接活動について広報と説明を行った。
- 2 東京都共同募金会主催の、「NHK歳末たすけあい」に協力した。